

南仏事件情報（2017年1月分）

（1）テロ関連

- ベルギー人からの通報でニース人を逮捕（アルプ・マリティム県）
27日、ニース市で、27歳の男性が警察の家宅捜索を受けて逮捕された。逮捕のきっかけは、被疑者とFacebookを通じて知り合ったベルギー在住のムスリムの女性が、同人がパリ同時多発テロを正当化したり、過激派の演説を聴かせたり、イスラム法を賛美したりしたことから、心配になって当局に通報したことによる。被疑者は、ニースのテロの後に過激思想が進行したと述べている。

（2）殺人、強盗等

- 国道そばで女性の遺体発見（エロー県）
4日10時ごろ、ビズとモントゥリエを結ぶ国道D67号線上で、女性の遺体が発見された。遺体は30～40歳の女性だが、まだ身元は判明していない。女性は靴を履いておらず、服装は外気温を考えると軽装だった。同日、ビズ市内で前部部分が破損した車両が放置されているのが見つかったが、事件との関連性は明らかになっていない。
- 42歳男性の不運な死（ブーシュ・デュ・ローヌ（B d R）県）
8日昼ごろ、サロン・ド・プロヴァンスで、PMUにいた42歳の男性がけん銃で銃撃されて死亡した。少なくとも2人の放浪の民（Des gens du voyage）がけん銃を乱射し、一緒にいた子供を守ろうとして屋外に出た男性が眉間に銃弾を受けて死亡した。被害者を助けようとした男性2名も軽傷を負った。同所では、前日に放浪の民とマグレブ出身者との間でトラブルがあり、放浪の民の男性が暴行を受けていた。死亡した男性は、このどちらにも属しておらず、たまたま現場にいて巻き込まれたと見られている。
- 廃棄車両の下から女性遺体の一部を発見（オード県）
9日11時ごろ、カルカッソンヌ市の駅の近くの廃棄車両置き場の車両の下から女性の遺体の一部が発見された。警察の初動捜査によると、遺体は60歳代のカルカッソンヌ在住の女性で、服を着ていなかったとのこと。
- 学校の駐車場で男性の遺体が発見される（アルプ・マリティム県）
11日午後8時30分ごろ、ムージャン市で、50歳代の男性が、学校の駐車

場に駐車された車の中で死亡しているのが発見された。男性は、親族から捜索願が出されていた。男性はカンヌ在住の事業者だった。警察による死因特定作業が行われている。

● ロニャックで男性が銃撃され死亡（B d R 県）

17日午後、ロニャック市で、21歳の男性が自宅の前で猟銃で銃撃されて死亡した。被疑者は24歳の男性で、当時、被害者の妹と口論をしていたとされており、憲兵隊が行方を探している。

● 高齢者2人が射殺される、被疑者は自殺未遂（ヴォークルーズ県）

23日午後、アプト市の射撃場の近くで、70歳代の男性2人が、77歳の男性に射殺された。被疑者は、駆けつけた憲兵隊員の面前で自殺を図り、マルセイユの病院に搬送されたが意識不明の重態である。これら3人の男性は、同じ射撃クラブの会員だった。

(3) その他

● 大晦日に300人逮捕（フランス国内）

昨年12月31日から新年にかけて、国内で少なくとも300人が逮捕された。また、出勤していた治安部隊に対する襲撃や物を投げるなどの行為が行われ、消防隊員1人と機動隊員2人が負傷した。

● 宝石を隠匿していた男を逮捕（B d R 県）

12日、マルセイユ市2区で、マグレブ方面への客船に搭乗しようとした男が、出所不明の宝石を多数所持していたことから税関職員に逮捕された。捜査の結果、同宝石は昨年12月にニースで強奪されたものだった。

● 強姦容疑で警察が捜査（オート・ガロンヌ県）

13日深夜、トゥールーズ市で、20歳の女性が強姦されたとして警察が捜査を開始した。女性は、深夜友だちと一緒にディスコを後にしたところまでは覚えているが、その後の記憶がないとのこと。

● セレモニー中の宝石強盗（B d R 県）

14日午後6時ごろ、マルセイユ市6区で、宝石店にけん銃強盗が入った。強盗は覆面もつけず徒歩で来店し、チャイムを鳴らして入店した。いくつかの宝石を見たあと、ポケットからけん銃を取り出して店員を脅し、ロレ

ックス3点を要求して奪い去った。犯行時、旧港では「マルセイユ・スポーツ年」のオープニング・セレモニーが催されており、約900人の警察官と兵士が動員されていた。

● 首を切られて瀕死の重傷（B d R 県）

26日午後10時ごろ、エクサンプロヴァンス市で、21歳の男性が首を切られて瀕死の重傷を負った。男性は血まみれの首を押さえながら軽食店に助けを求めて入店し、駆けつけた救急隊から救命措置を受けた。事件の詳細については警察が捜査中。

● 暴走車両に警察官が発砲（タルヌ・エ・ガロンヌ県）

28日午前6時ごろ、モントーバン市のディスコの外で、警察官が暴走車両に発砲する事件が発生した。ディスコの外で諍いが発生したとの通報を受けて現場に臨場した警察車両に対し、当事者の1人が車をバックさせて衝突させた。さらに、警察官の1人に向けて車を発進させたことから、残りの警察官が同車両のタイヤに10発発砲した。男はその場で拘束された。発砲によるケガ人はなかった。

● 発砲事件の捜査開始（オート・ガロンヌ県）

28日夜、トゥールーズ市のイザール地区で、同地区に滞在しているシリア人難民と地元民の間で抗争が発生し、複数回銃撃が起きた。現場付近から、4発の空薬きょうが発見されたが、この発砲による怪我人は確認されていない。目撃者によると、数十人がこの抗争に関係しているとのこと。警察は、この発砲事件に関し、4人を拘束し取調べをしている。

※ ここに掲載した事件は新聞等の公開情報をもとにまとめておりますが、掲載した事件以外にも日々各種事件が発生していることを申し添えさせていただきます。